

### コーナー展示

## 大政奉還 150 年 大政奉還の建白者・山内容堂

|      |                                    |        |
|------|------------------------------------|--------|
| 期 間  | 平成 29 年 4 月 1 日 (土) ~12 月 28 日 (木) | 209 日間 |
| 会 場  | 1 階ロビー                             |        |
| 入館者数 | 10,280 名                           |        |

### 〔開催趣旨〕

平成 29 年 (2017) は、慶応 3 年 (1867) の大政奉還から 150 年となる節目の年である。この年を迎えるにあたり、京都市をはじめとする関連 20 都市は、「大政奉還 150 周年記念プロジェクト」を立ち上げ、「幕末維新スタンプラリー」を実施する運びとなった。本事業に関連し、品川歴史館では、区内東大井の地に墓所が存在する土佐藩第 15 代藩主山内豊信（容堂）に関連するパネル展示を開催した。

### コーナー展示

## 茶室「松滴庵」と江戸時代大井の桜

|      |                                   |       |
|------|-----------------------------------|-------|
| 期 間  | 平成 29 年 4 月 1 日 (土) ~7 月 13 日 (木) | 85 日間 |
| 会 場  | 小講堂                               |       |
| 入館者数 | 3,461 名                           |       |

### 〔開催趣旨〕

大井村名主であった大野惟図（杜格斎景山）による『南浦桜案内』に見られるように、江戸時代の大井は桜の名所であった。平成 28 年 (2016) に前掲史料に登場する西光寺の児桜の亚克力標本を作製したことを受け、桜の名所としての大井地域を紹介した。

### 〔展示内容〕

茶室「松滴庵」の内部を写した写真や、西光寺の児桜、普賢象の亚克力標本、江戸時代の大井の桜を取り上げた史料を展示した。

## コーナー展示 子ども歴史展示コーナー

### はっけん！！むかしの本ー今とはちがう？和本のせかいー

期 間 平成 29 年 7 月 22 日（土）～9 月 24 日（日） 53 日間

会 場 小講堂

入館者数 2,378 名

#### 〔開催趣旨〕

現在、一般的に流通している本はいわゆる「洋（装）本」であり、明治時代以降に普及したものである。それ以前は和紙を和綴じで製本した「和（装）本」が読まれていた。また、本の印刷方法が木版刷りから活版刷りへと変化したのも同じ頃のことである。本展では、日本において 1,000 年以上読まれていた和本を取り上げ、伝統的な日本の文化に着目すると同時に、現在の本と比較することでどのような違いあるのか紹介した。

また、「本」は子どもたちにとっても身近な題材であり、身近なテーマから一層歴史に興味を持ってもらうことも目的とした。



#### 〔展示内容〕

1. 和本のかたち
  2. 和本ができるまで
  3. 和本のジャンル
  4. 和本のおわり
- ・ワークシート（全問正解の子どもには、起こし絵をプレゼント）